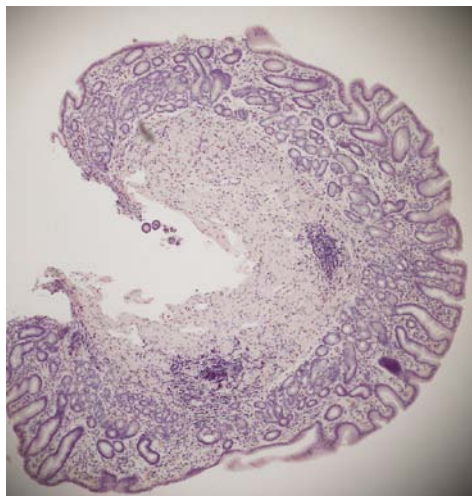


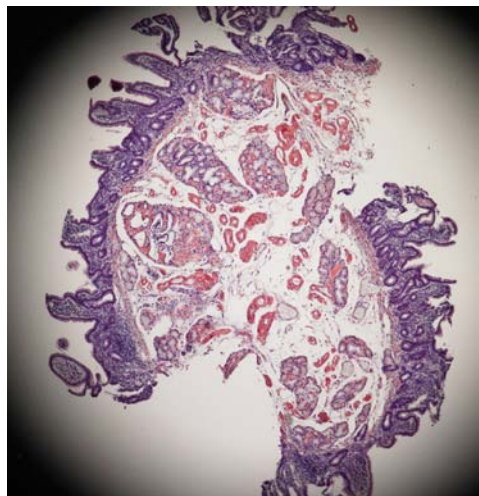
アバタセプトは、製剤独自のAAアミロイドーシス発症抑制効果は認められないと考えられる。生物学的製剤使用中にも前駆物質SAAを抑制することがAAアミロイドーシス発症予防にきわめて重要である。

研究分担者：道後温泉病院リウマチセンター 奥田恭章

1. アバタセプト投与中に急速にAAアミロイドーシスを発症した症例の組織所見の推移
(十二指腸生検:Congo red染色)

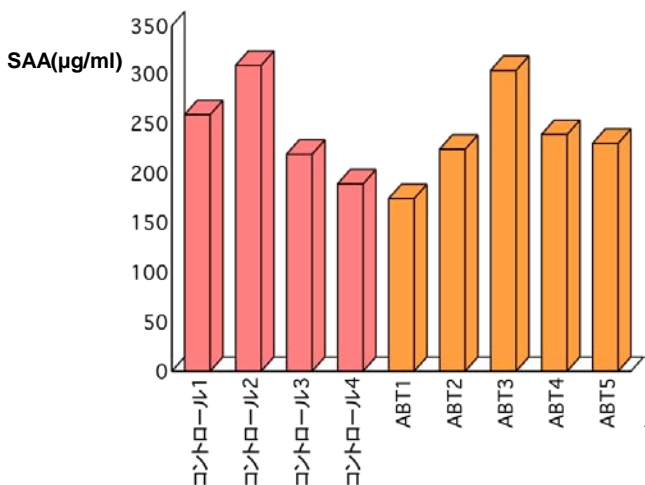


投与開始時：2011.10.21

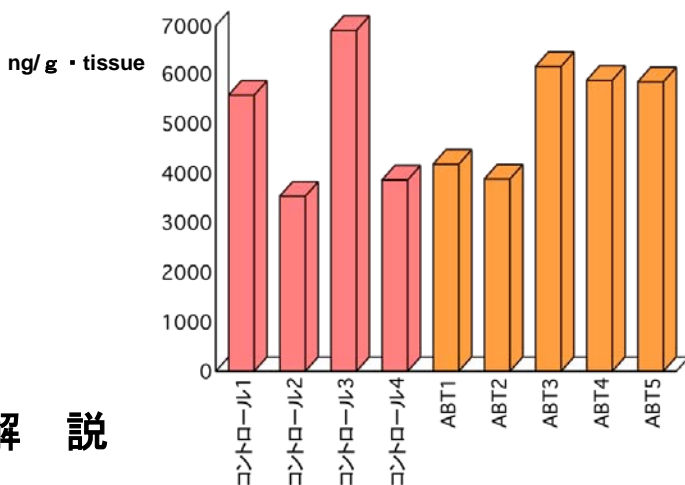


アミロイド発症時：2013.7.16

2. ヒトアポEノックインマウスによるアバタセプト投与によるSAA及びAA蛋白沈着抑制試験



解 説



1. 今回、関節リウマチに対してアバタセプト(ABT)を使用中に二次無効となり、AAアミロイドーシスを急速に発症した症例を経験した。

2. SAAは、コントロール群(n = 4): 245.0 ± 24.5 、ABT群(n = 5): 235.2 ± 21.9 であり、SAA抑制効果は認めなかった ($p = 0.7738$)。

3. AA沈着量は、コントロール群: 4985.0 ± 1566.8 、ABT群: 5210.0 ± 1071.1 ($p = 0.8159$)であり、ABTはAA沈着抑制効果を認めなかった。